

【搬出作業】

間伐し乾燥させた木を搬出し、山に生えていた木を木材として商品にする過程を体験し、自然と人との関わりや、木材の利用について考えました。

子どもたちは、伐ってから山で寝かせて乾燥させることで木が軽くなること、木が水分を多く含んでいることを実感していました。森林組合の方から、市場に出す際に気を付けるのは、買い手が欲しがる商品にすることだと聞き、どんな木材が使いやすいか、何に使われるのかなどを考えながら作業することができました。また、2回にわたりプロの作業を間近で見て指導を受けることで、子どもたちからは、「道具の使い方が上達した。」「山を歩くのが面白くなった。」「山が身近に感じられるようになった。」などの感想が聞かれ、地域の自然や林業への関心が高まったようでした。森に生えていた木が木材として商品になるという意識も生まれ、次の市場見学を楽しみにしていました。

【市場見学】

子どもたちは、搬出した木材が市場でせりにかけられる様子を見学し、木材がどこでどのように利用されるかを学びました。また自然と人との関わりや、木材の利用、循環可能な自然資源について考えました。

子どもたちが出荷した間伐材は足場丸太、筏丸太、短材、杭材の4種類の商品として買い手がつかしました。市場の方に販売価格や買い手、用途などを教えていただき、子どもたちは森の木がどのように流通し、何に使われるようになるのかを知ることができました。また、市場では様々な用途の機械やせり、置かれた木材を見学し、初めて見る物、知ることに興味を示していました。市場の役割や木材利用について学んだほか、4回の授業のまとめとして、身近な木を利用することが環境保全につながる事も学び、地元大台町の自然や産業の特色に触れ、環境について考えることができました。

大台町の産業である林業を題材にしてふるさとの自然環境や文化などの特色を学ぶことによって、子どもたちには、地域の人や自然との関わりが深まる良い機会となりました。



プログラム概要

内容	①山の見学 ②間伐体験 ③搬出作業 ④市場見学
時間	山の見学 1時間 35分 間伐体験 1時間 30分 搬出作業 1時間 15分 市場見学 1時間 15分
場所	大台町内の山林及び丸天木材市場
対象	三瀬谷小学校 4年生 30人 宮川小学校 4年生 15人
講師	・森のせんせい： 特定非営利活動法人大杉谷自然学校 ・宮川森林組合
備考	大台町小学生が創る宮川未来の森 (間伐体験) 事業